

SCOUT

BIKE ALARM AND FINDER

QUICK START GUIDE

クイックスタートガイド

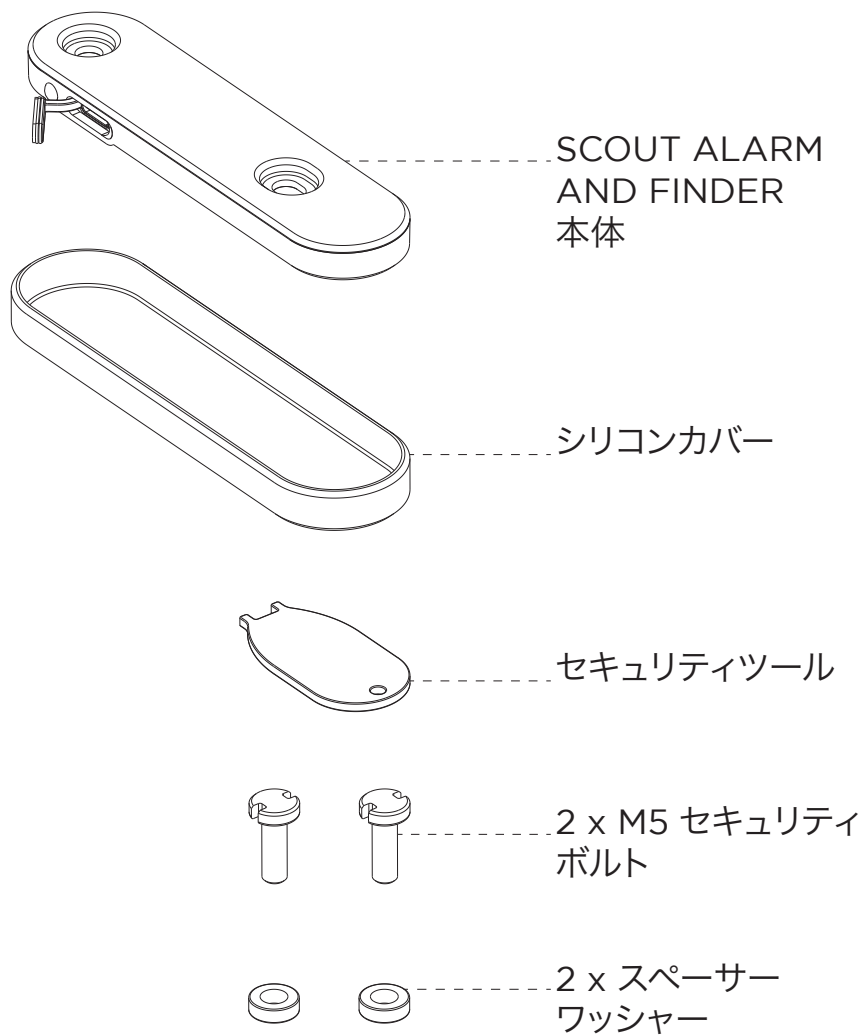


KNOG.COM

CONTENTS

内容物	3
ペアリングを有効にする	4
KNOG APPの設定	5
デバイスに接続する	6 - 7
iPhoneから警戒モードの設定と解除を行う	8
ファームウェアのアップデート	9-10
本体から警戒モードの設定と解除を行う	11-12
「探す」アプリに接続する	13
充電方法	14
シリアルナンバーの確認	15-16
「探す」アプリを無効にする	17
ファクトリーリセットについて	18

内容物

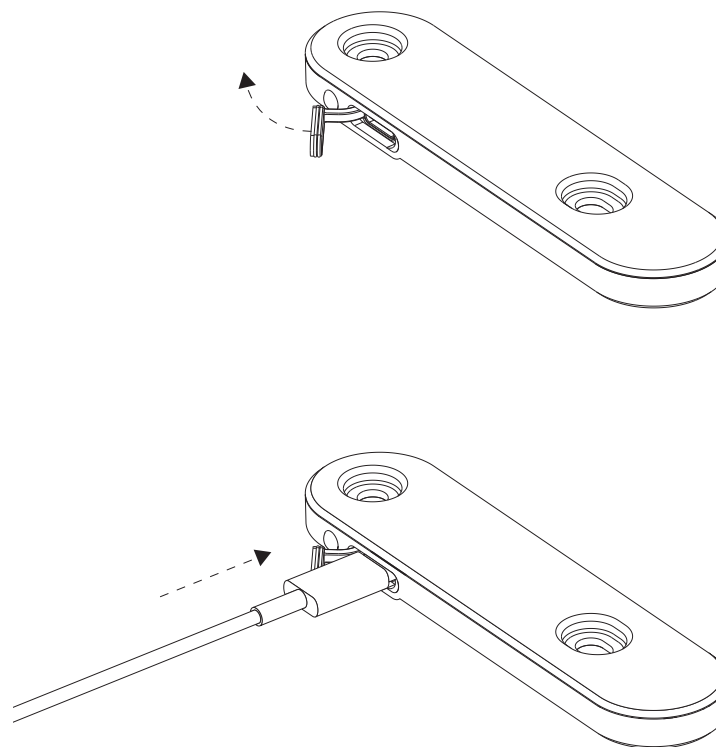


ペアリングを有効にする

Scoutと、iPhoneをペアリングする前に、ScoutをUSB-CケーブルでUSB充電器に接続します。

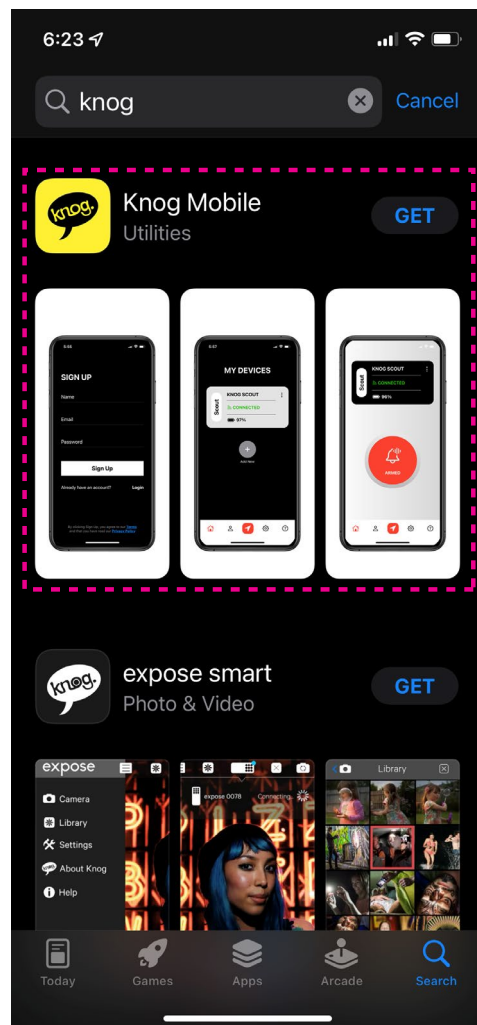
正しく挿入されると、ステップトーンが3回のビープ音で鳴ります。

*Scoutが以前に別のKnog appやApple IDにリンクされていた場合は、Knog appおよび「探す」アプリを使用してアカウントから削除されていることを確認した上で、18ページの説明に従ってファクトリーリセットを行ってください。

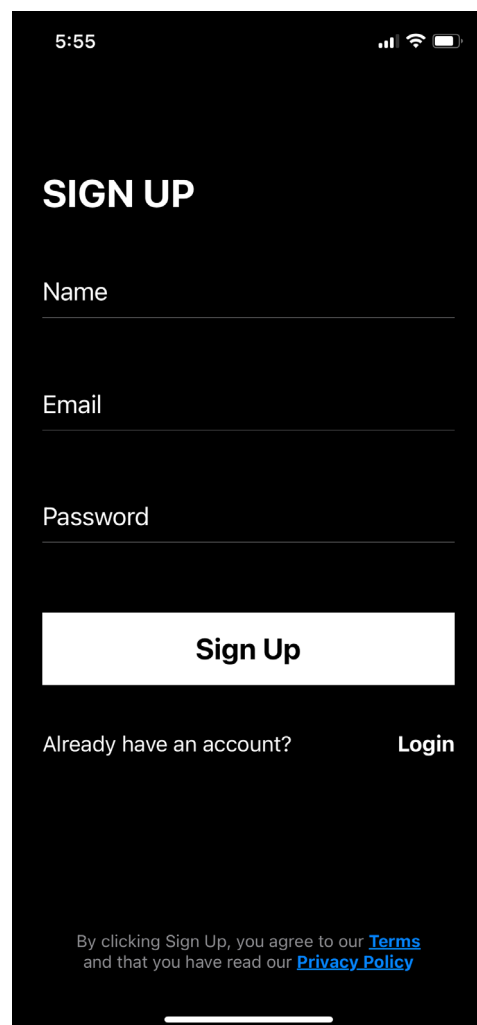


KNOG APP の設定

1.Knog appをapp storeで検索してインストールします。

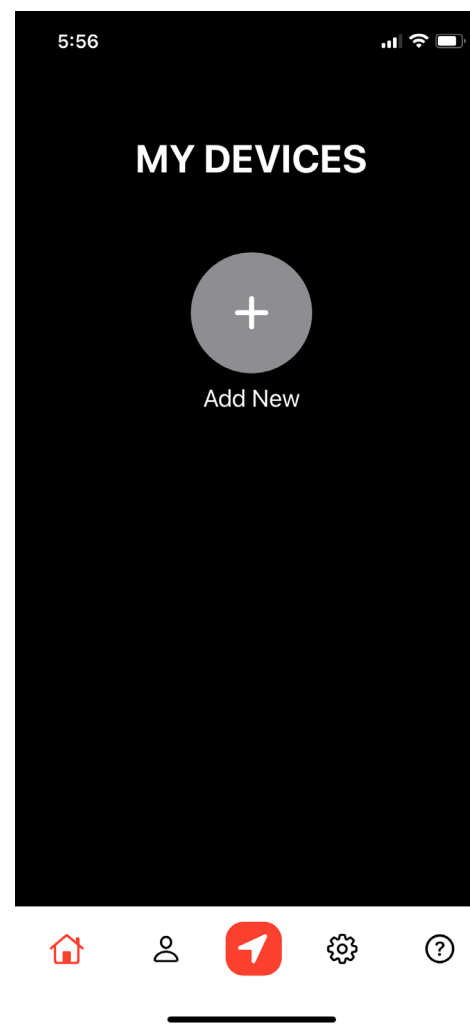


2.あなたの情報を入力し、プロフィールを作成します。

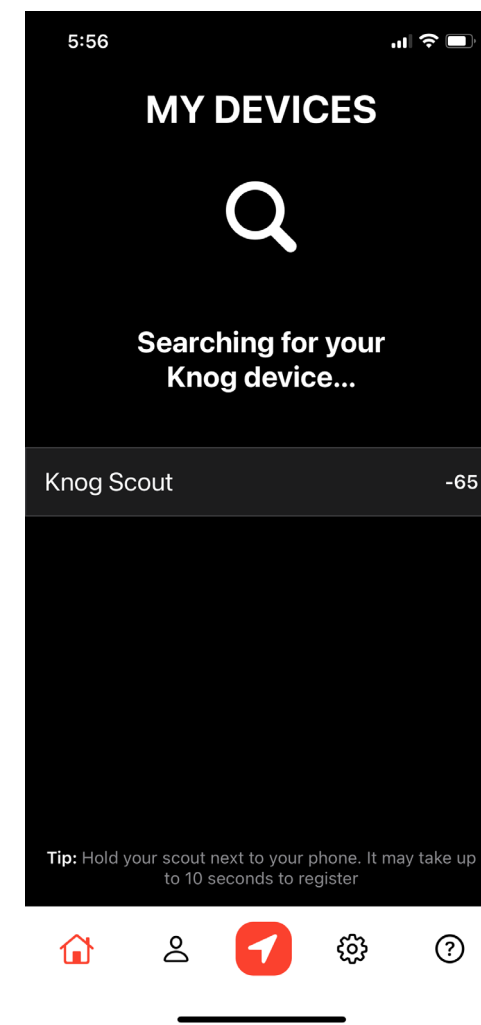


デバイスに接続する

3.Scoutの電源が入っていること、充電されていること、圏内にあることを確認してください。
+ボタンを押してScoutを検索します。

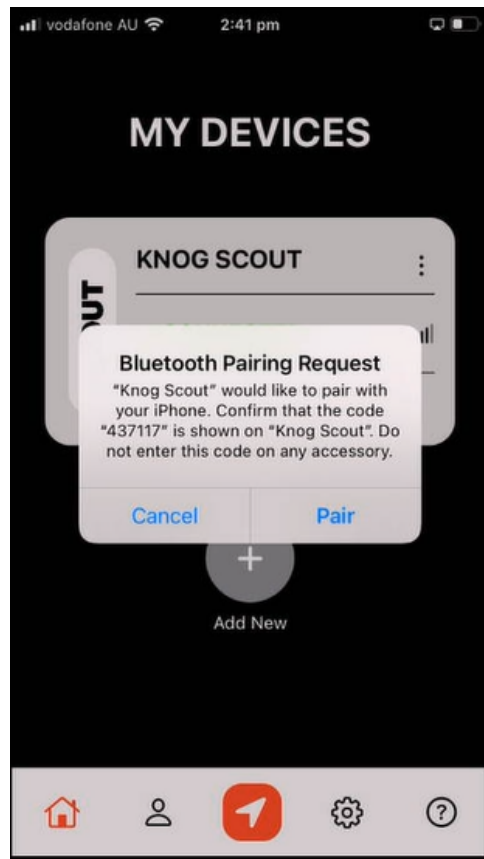
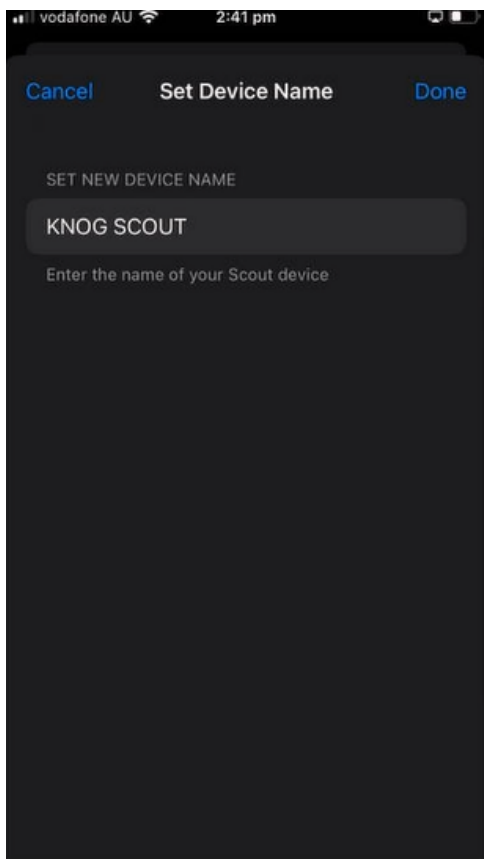


4.デバイスを選択し、Knog Scoutを登録します。



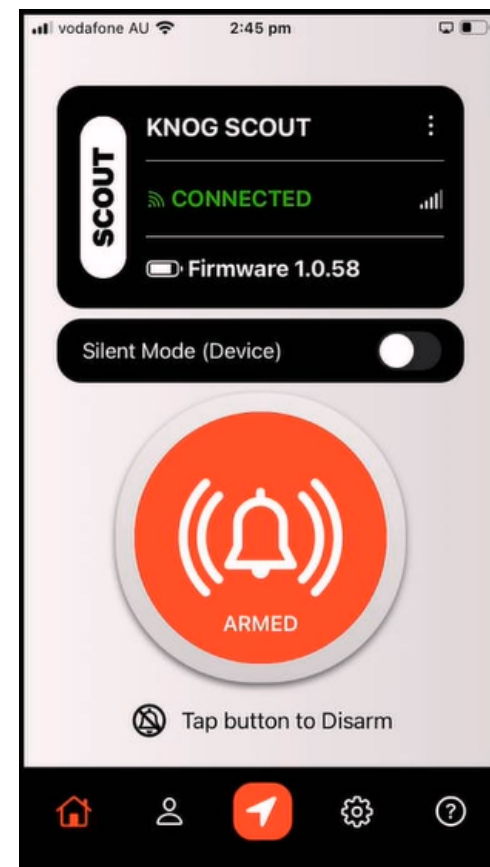
デバイスに接続する

5. Scoutに名前をつけます。
6. ペ어링の要求を承認します。
7. Scoutが接続されます。



iPhoneから警戒モードの設定と解除を行う

1. Scoutを警戒モードにするため圏内にあることを確認します。ScoutがCONNECTEDの表示になっていることを確認します。黒く表示されているボタンをクリックしてスカウトを警戒モードに設定します。
2. ボタンが警戒モードになったことを知らせます。警戒モードを解除するにはScoutが圏内にあることを確認して、赤いボタンをクリックします。

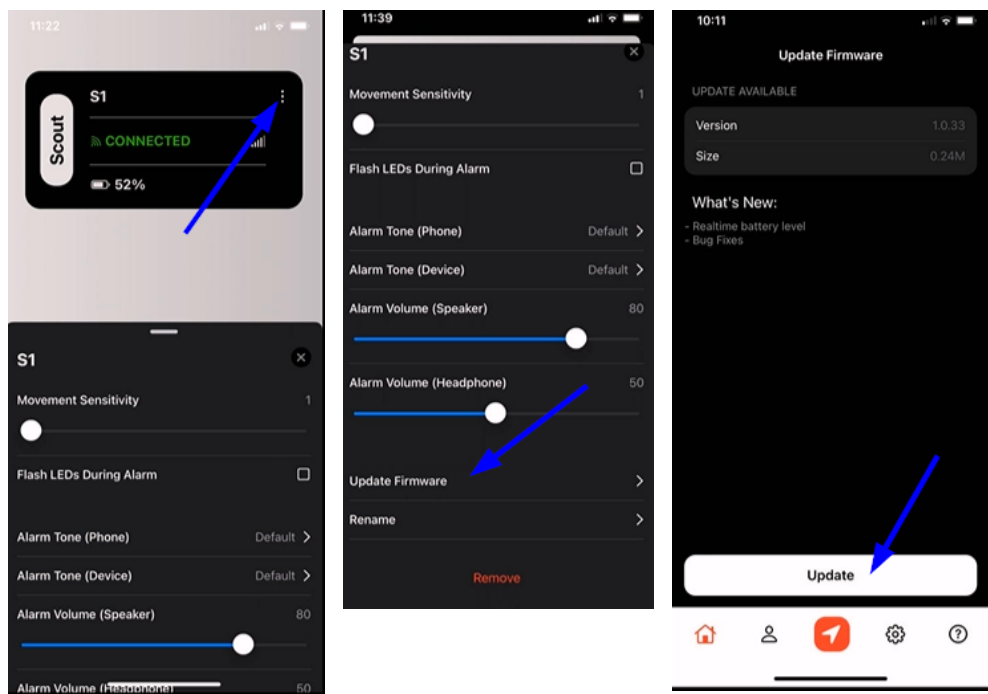


ファームウェアのアップデート

Scoutが接続されると、3つのドットのメニューが選択できるようになり、設定画面に移動できます。スクロールダウンして、'Update Firmware'を選択します。

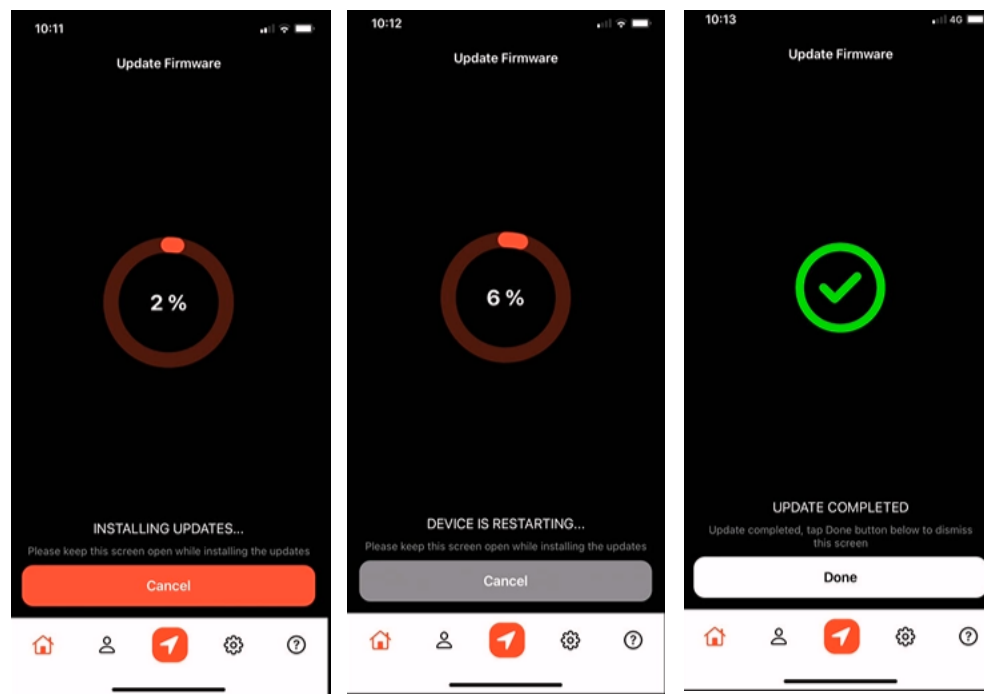
もしもデバイスがすでに最新のファームウェアの場合は、“You are up to date”が表示されます。

新しいファームウェアが必要な場合、ダウンロードしてインストールを行います。



ファームウェアのアップデートが始まるとインストールプロセスが表示されます。もしもキャンセルを選択すると、既存のファームウェアのままになります。

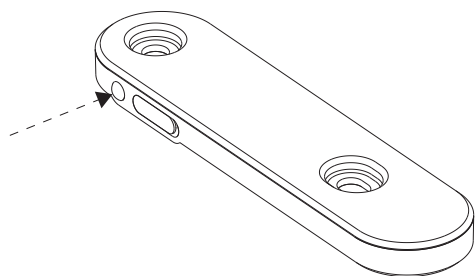
一度ファームウェアをダウンロードして、インストールすると、Scoutは自動的にリセットされ更新を検証して有効化します。ファームウェアの更新プロセスが終了し、正常にインストールされると、承認の通知が表示されます。



本体から警戒モードを設定する

1.Scoutを警戒モードにするため、iPhoneが圏内にあること、Knog appが起動していることを確認します。

2.本体のボタンをクリックし警戒モードにします。



ScoutのLEDが警戒モードに入るまで点滅します。

注:ScoutがiPhoneにとっても近い状態の時のみ本体からの警戒モードの設定が可能です。

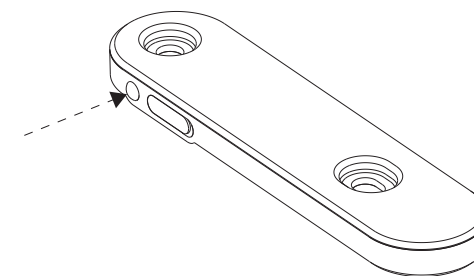
警戒モードになるまで、ボタンが黄色く表示されます。



本体から警戒モードを解除する

1.警戒モードを解除するには、iPhoneが圏内にあること、Knog appが起動していることを確認します。

2.クリックし、Scoutの警戒モードが解除されるまでボタンを押し続けます。



注:ScoutがiPhoneにとっても近い状態の時のみ本体からの警戒モードの解除が可能です。

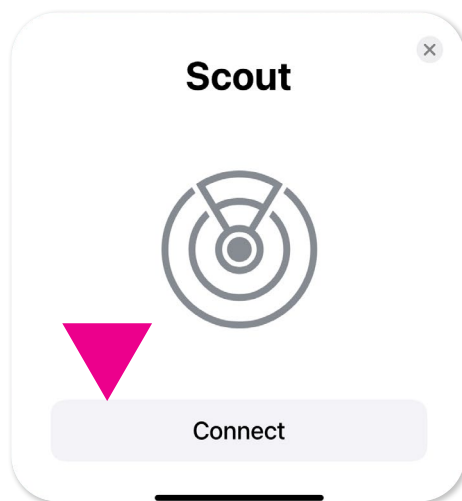
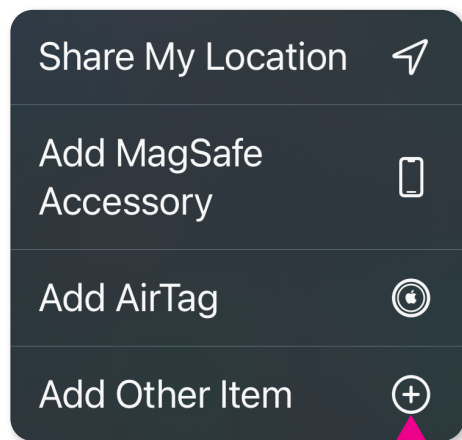
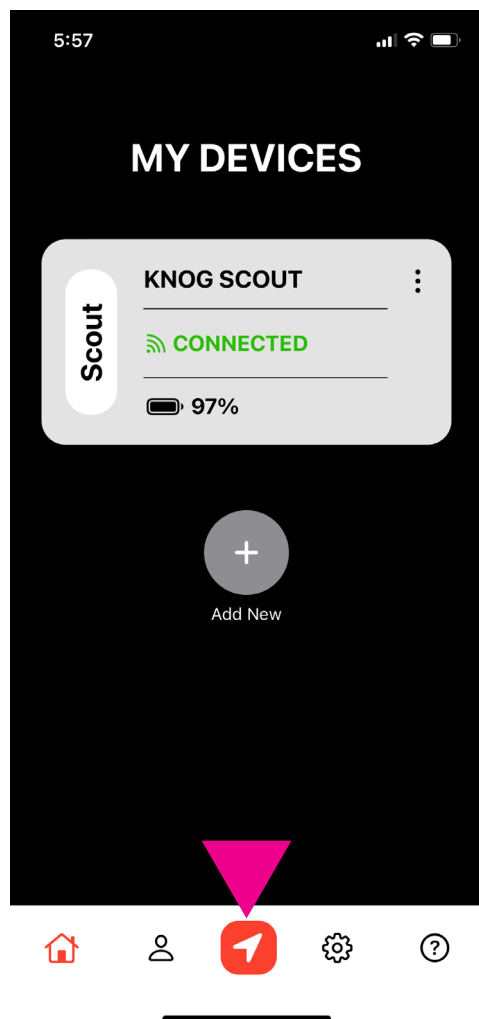
「探す」アプリに接続する

1.真ん中の赤い矢印ボタンを選択して、「探す」アプリを開きます。

2.+ボタンを押します。

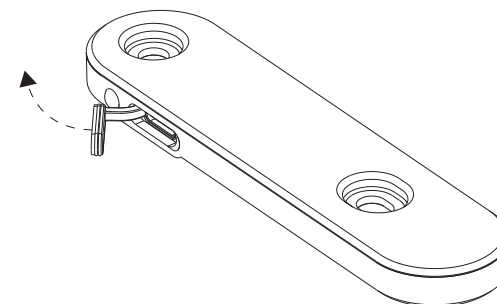
3.その他の持ち物を追加を選択

4.Scoutが表示されたら、接続します。選択して、名前をつけます。



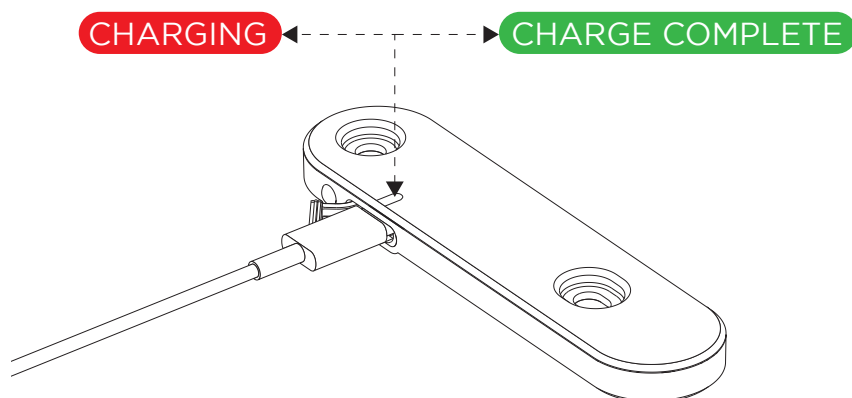
充電方法

1.USBのフタを外します。



2.USB-Cケーブルを挿入して充電をします。

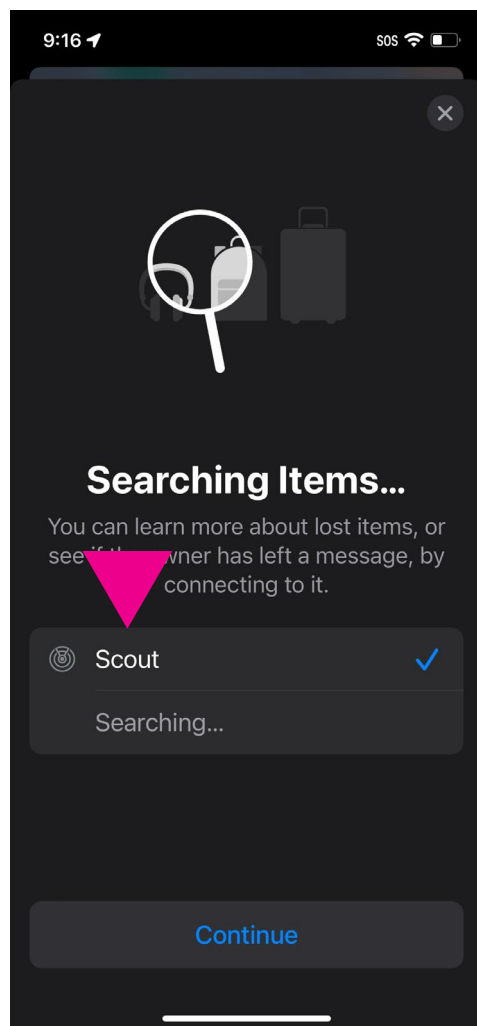
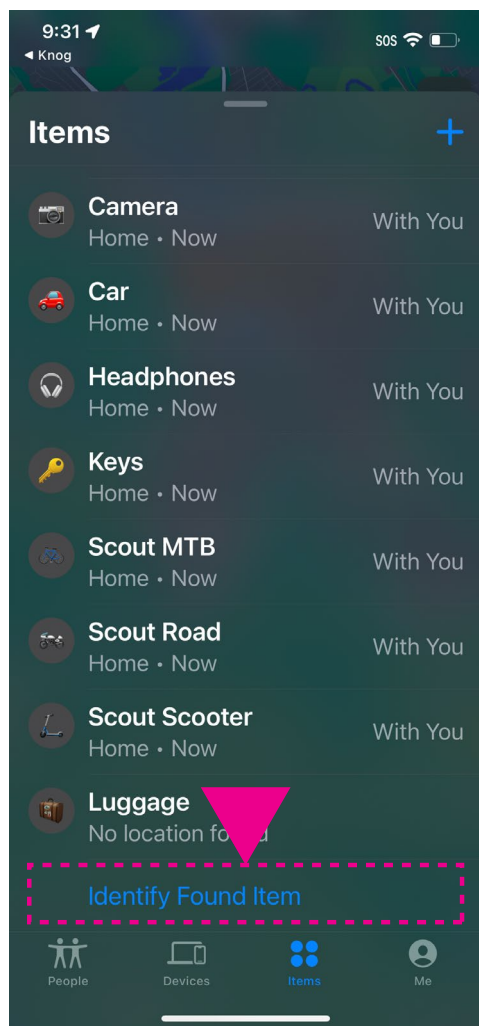
充電中、インジケーターが赤く光ります。グリーンになると充電の完了です。



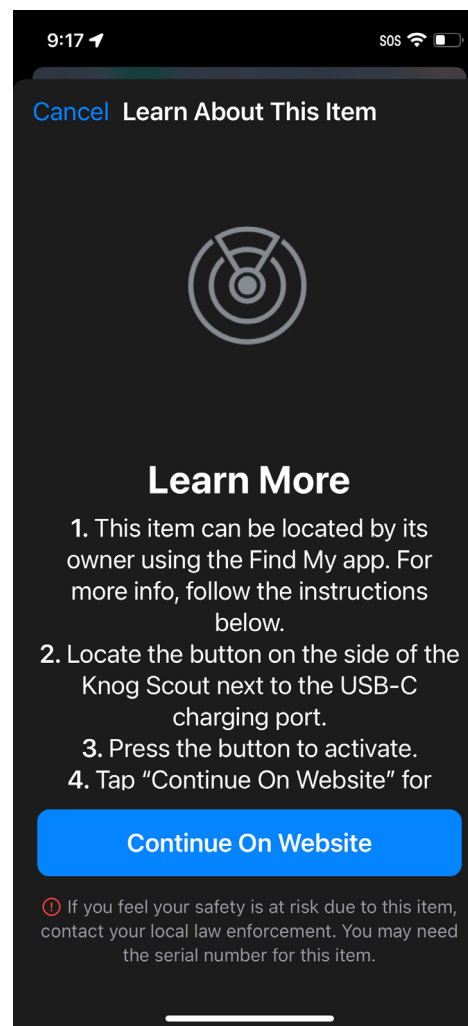
シリアルナンバーの確認

「探す」アプリを使用して、所持している未知のスカウトのシリアル番号を検索できます。

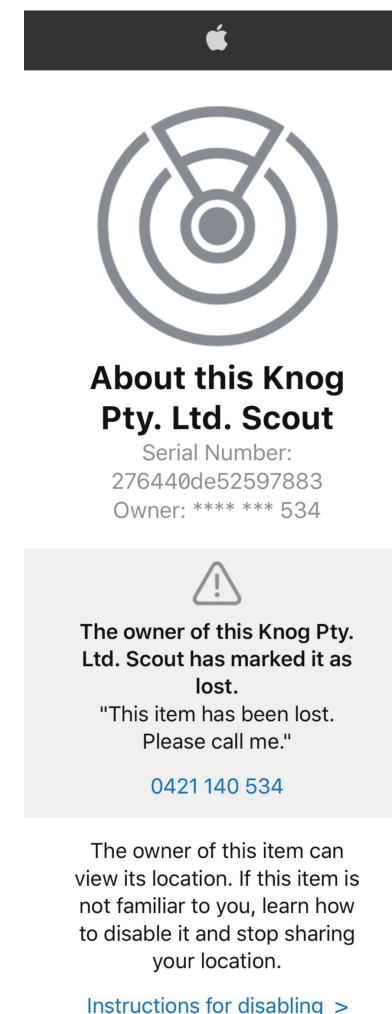
- 1.「探す」アプリで「見つかった持ち物を識別」を選択します。
- 2.近くのアイテムリストからアイテムを選択し、続行を押します。



3.以下のページが表示されたら、Scoutのボタンを押し、ウェブサイトで続行を選択します。



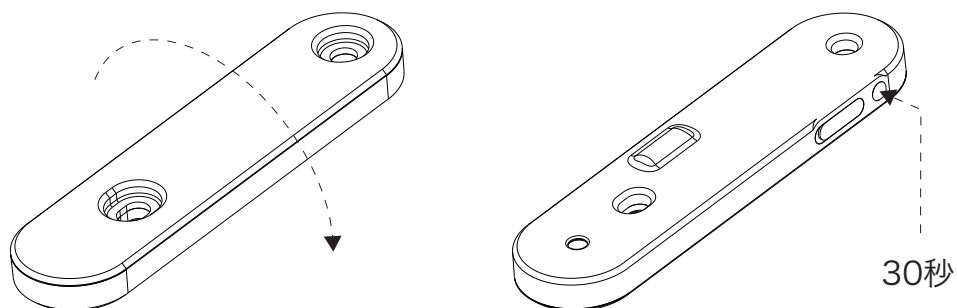
4.このようなページにScoutのシリアル番号が表示されます。デバイスが紛失モードに設定されている場合、所有者からのメッセージや連絡先の詳細がここに表示される場合があります。



「探す」アプリを無効にする

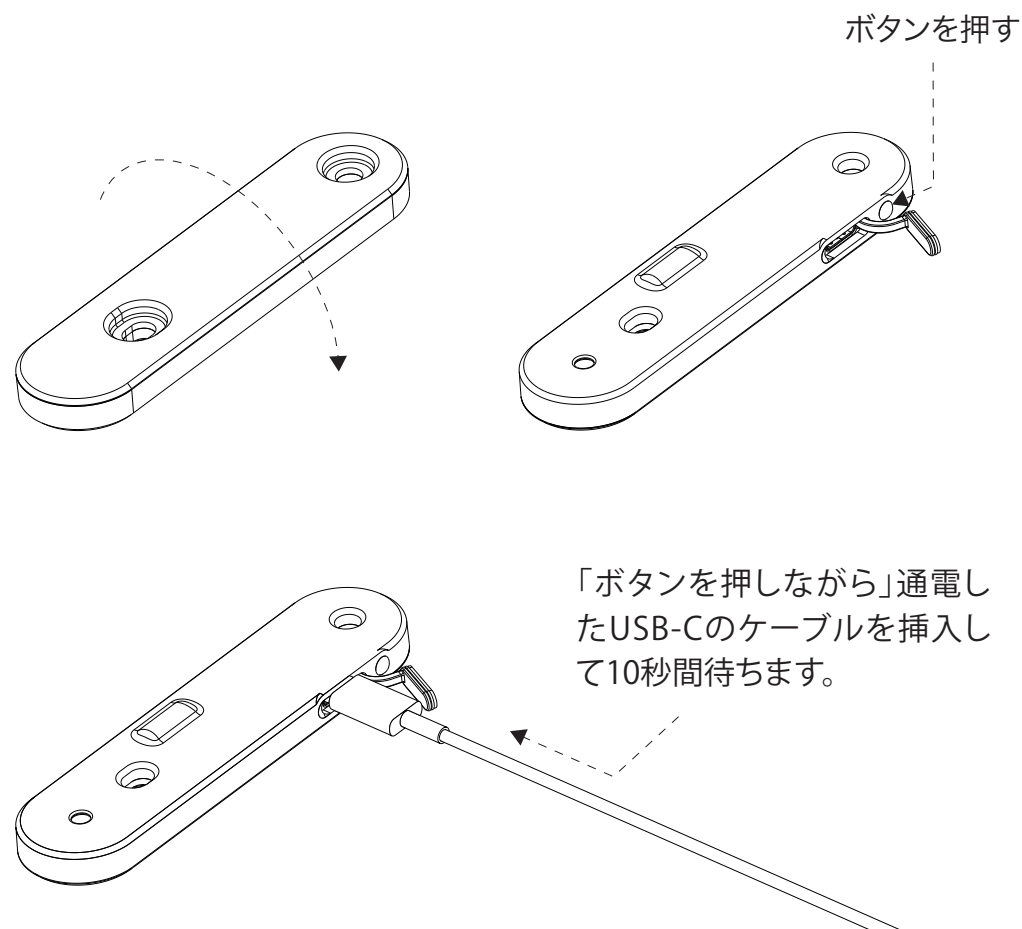
- 1.Scoutを裏返して、テーブルのような水平な面に置きます。
- 2.短いピープ音が4つ聞こえるまで、ボタンを30秒間長押しします。

この手順により、Scoutの位置情報の共有が停止されます。



ファクトリーリセットについて

- 1.Scoutを裏返して、テーブルのような水平な面に置きます。
- 2.「ボタンを押しながら」通電したUSB-Cケーブルを接続します。長いピープ音が3回聞こえるまで、ボタンを10秒間長押しします。





KNOG.COM

さらに詳しいサポートページはこちら

www.cog.inc/knog/scout-support



Use of the Works with Apple badge means that a product has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the product manufacturer to meet Apple Find My network product specifications and requirements.

Apple is not responsible for the operation of this device or use of this product or its compliance with safety and regulatory standards.

FCC WARNING

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

To maintain compliance with FCC's RF Exposure guidelines, This equipment should be installed and operated with minimum distance between 20cm the radiator your body: Use only the supplied antenna.



FCC ID: 2AQPF-12998

FCC COMPLIANCE STATEMENT

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause harmful interference,
- and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Complies with
IMDA Standards
(DA107974)



R 214-120677



R-R-kpL-12998

